

成人おめでとう

令和2年 行方市成人式

大人への第一歩を踏み出した 357 人の新成人たち

令和2年行方市成人式が1月12日(日)、市文化会館で晴れやかに開かれました。

今年の新成人は、平成11年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた市内在住者および市内出身者357人(男性186人、女性171人)です。

晴れ着に身を包んだ新成人たちは、久しぶりに会う恩師や友人と写真を取り合ったり、近況を語り合ったりと、会場はたくさんの笑顔であふれました。

式典の企画・進行は、新成人で構成する実行委員会(15人)が中心となって行いました。また、今年も「成人式に係る社会貢献活動」として、台風19号および10月24日からの大雨に伴う災害により、被災された方々を支援するための義援金募金活動を実施しました(活動報告は5ページをご覧ください)。

式典で、市長からは「今後は自分のことだけではなく、広く社会へも目を向け、自らが世の中の役に立つことを常に考えながら、若い力を大いに発揮してください」とお祝いとお励ましの言葉がありました。

式典後のアトラクションでは、実行委員会が制作した恩師からのお祝いメッセージの映像や中学時代の思い出の写真が映されたり、新成人から恩師へのインタビューが行われたりと、会場は大いに盛り上がりしました。



今月号の表紙より

令和2年成人式実行委員

※順不同、敬称略

小沼優貴	高野知也	松崎さくら	大堀夏瞳	石川敦也
岡里拓実	根本孝紀	川窪 悠	青木篤志	松金秀喜
井能 楓	宮内大輔	中島和京	森作真衣	英保樹那



▲記念品贈呈 市長から新成人代表 中島和京さんへ



▲成人者代表謝辞 成人式実行委員長 川窪 悠さん

こんなことがありました。みんなが生まれた20年前。

平成11(1999)年→平成12(2000)年

- ▶ソニーが子犬型ペットロボット「AIBO」の発売を開始(平成11年6月)
- ▶日本シリーズで、ダイエーが前身の南海時代以来35年ぶりの日本一(平成11年10月)
- ▶2000年代最初の日。2000年問題の発生が注目されたが大きな問題は起きず(平成12年1月)
- ▶流行語…「リベンジ」「雑草魂」「カリスマ」「西暦2000年問題」「癒し」など
- ▶ベストセラー…「五体不満足」(乙武洋匡)「本当は恐ろしいグリム童話…」(日本語練習帳)(大野晋)など
- ▶映画…「ポケットモンスター 幻のポケモン・ルギア爆誕」「鉄道員(ぽっぽや)」「スター・ウォーズエピソード1ファントム・メナス」「マトリックス」など
- ▶ヒット曲…「だんご三兄弟」(速水けんたろう・茂森あゆみ)「A」(浜崎あゆみ)「LOVEマシーン」(モーニング娘。)など



①④⑤⑦久しぶりに会った旧友とパチリ。②③⑥会場内の様子。⑧中学校時代の恩師と記念撮影。みんな立派に成長しました。⑨保護者の皆さんと記念撮影。お母さんたちもニコリ。⑩小学校の仲間たちと。今でも仲良し！⑪式典後のアトラクションでは、中学生時代の懐かしい映像が上映され、盛り上がりました(右上)。お世話になった恩師への質問タイムでは、当時の思い出話に先生方も笑顔に。⑫式典の司会進行役の2人。⑬⑭⑮地区ごとに設けられた受付では、行方市高校生会のメンバーも協力してくれました。

♥ 新成人の「夢」や「思い」を聞きました ♥



二十歳の夢 ♥





成人者代表発表 —成人を迎えて—



根本孝紀さん

20年前、大きな産声を上げながらも未熟児で産まれてきた私を、両親は愛情を注いで育ててくれました。どんな時も味方でいてくれ、両親の支え無しでは、この日を迎えることができなかったと思います。今まで生活していて、気付くことができなかった両親の存在の有り難さや今になって実感し、照れくさくて伝えることができなかった感謝の気持ちを、これから言葉にして伝えていきたいと思っています。

私は、高校卒業後、以前より目指していた消防の職に就きました。現在は、地元である行方消防署で消防士として勤務しています。

「現状維持は衰退と思え」。この言葉は、消防学校の教官に訓練中言われた言葉です。近年、国内外において災害が多種多様化する中、さらに現場活動の高みを目指さなければ、要救助者の命はおろか自分の命まで失う。という意味が込められ

ていると教えていただきました。消防が動く現場に安全な場所などありません。しかし、現場では冷静で迅速な活動が求められます。人の命や財産を脅かす災害に対して、我々消防機関への市民の期待と信頼が高まっている中、より良い現場活動と地域サービスの向上を心がけています。普段、私たちは、火災の現場や急病の人など悲しい現場を目の当たりにすることが多いです。しかし、消防署には時々、救急車で運ばれた方が退院した報告をしに来てくださることがあります。その時、元気になった姿を見ると、我々はこの仕事に喜びを感じるができます。それと同時に、私はこの消防士という職業を誇りに思います。

社会人2年目がまもなく終わり、3年目を迎えようとしている今、この職業で体験した誰かのために行動するという気持ちを忘れることのないよう、そして「市民ファースト」の気持ちを忘れることなく、これからも皆さまがこの行方の地で、安全で安心に暮らせるよう、サービスの向上に努めていきたいです。

最後になりますが、今日まで育ててくれた両親や家族、本日、この式典のためにご尽力いただいた関係者の方々に、厚く御礼申し上げます。新成人のあいさつとさせていただきます。

私たちが今日の日を迎えることができたのは、家族や先生、地域の方々の支えがあったからです。

成人式実行委員会では、成人になったことを契機に、これまで私たちを育んでくださった地域の方々や家族への感謝の気持ちを行動に表そうという思いから、社会貢献活動を実施することになりました。

活動の内容は、台風19号および10月24日からの大雨に伴う災害により、被災された方々を支援するための義援金募金活動への取組です。

まず、11月10日の行方ふれあいまつり会場において、実行委員手作りの募金箱を持って募金活動を行いました。たくさんの方から募金と励ましのお言葉をいただき、改めて地元の方の温かさを感じることができました。

また、12月は約1カ月間、各公民館に募金箱を設置しました。そして本日は成人式の受付において募金活動を行いました。成人式の案内状でも募金と呼び掛けたので、新成人の皆さまや保護者の皆さまがたくさん募金を届けてくださいました。

なお、義援金は、日本赤十字社茨城県支部行方市地区を通して被災地へ贈る予定です(※)。金額等詳細につきましては、市報「なめがた」にてお知らせいたします。

この活動を通して、私たちは、一人の力は小さくても、みんなで協力すれば大きな力になることを学ぶと共に、これからはひとりの大人として、社会に貢献していくという決意を新たにすることができました。義援金募金活動にご協力くださった皆さまに感謝を申し上げ、社会貢献活動の報告とさせていただきます。ありがとうございました。

■募金額 3万3千円

※1月14日(火)に、日本赤十字社茨城県支部行方市地区へ届けました。



青木篤志さん